

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 724

政策体系	11	事業分類	ソフト事業	所管部局	教育委員会 社会教育課
会計	一般会計	科目	10. 教育費 - 5. 社会教 - 4. 資料館 現年		
事業名	体験講座開設事業				
細事業名	体験講座開設事業				
				評価表作成者	教育委員会 社会教育課 井尻 智道

1. 事業の概要

郷土資料館講座：「こんにやくづくり」「正月みそをつくろう」等を開催する。

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

住民に対して、郷土の歴史や文化をより身近に感じ、体感してもらうことにより、郷土への理解を深めることを目的とする。

②事業を実施する必要性

人と人との繋がりが希薄になってきている昨今、郷土という共通のテーマに基づく、体験教室を開催することにより、この状況を改善することができる。

3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円	370	189	117	96	98	105	105
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	6	5	10	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	370	189	111	91	88	105
職員等の従事人員	人/年	—	0.56	2.60	2.60			
人件費	千円	—	1,523	5,007	5,325			
事業費総額	千円	—	1,712	5,124	5,421			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

報償費	30,000円
消耗品費等	53,901円
参加者及びボランティア保険	11,940円

5. 事業結果の概要

日吉町郷土資料館
 郷土資料館開館10周年を記念して以下の事業を開催
 ①アカペラコンサートinかやぶき民家（4月29日）92名参加
 ②餅つき体験（5月4日）府民の森新緑祭と共催、98名参加
 ③戦争のお話し（8月21日）40名参加
 ④正月みそをつくろう（11月20日）9名参加

6. 活動の詳細

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

社会教育課の事業の中で、郷土資料館ならではの特性を生かした体験活動を実施していくことが必要。地元住民や団体に講師や講座運営に協力いただき体験活動を展開する。また、新規参加者の開拓を行う必要がある。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

社会教育課の事業の中で、郷土資料館ならではの特性を生かした体験活動を実施していくことが必要。地元住民や団体に講師や講座運営に協力いただき体験活動を展開する。どうしても従来までの参加者が参加する機会が多い。新規参加者の開拓を行う必要がある。

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
社会教育課の事業の中で、類似した体験活動は統廃合していくこと。
- ②当該事業のアピール事項
文化博物館・郷土資料館は、郷土関連する体験活動を展開する。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
どうしても従来までの参加者が参加する機会が多い。新規参加者の開拓を行う必要がある。